

# かけはし



## 病院長よりご挨拶

新年度を迎え、当院も多職種の新たな人材が加わり、診療内容が一層充実することになりました。また秋には、現在の353床から脳卒中および急性心筋梗塞に係る高度専門医療病床40床（心筋梗塞の専用病室CCU 5床を含む）と療養療育支援15床を含めた55床が増床され、408床を擁することになります。新病棟は6階建ての建物で、現在順調に建設が進んでいます。さらに宿泊棟も建設中で、5階建ての113室、温泉施設やレストランを併設しており、医学生の臨床実習期間中の宿泊施設になるとともに、一般の方々にも開放する予定で、これも10月初めのオープンを目指しています。

病院長

大和田 倫孝

当院の医療圏は栃木県のみならず関東地方北部や東北地方南部からなり、これらの地域から多くの患者様にご来院いただいています。地域の皆様の健康を守ることに加えて、国際医療福祉大学の附属病院として、医療福祉に貢献する人材育成も使命としています。昨年度は成田市に

医学部が新設され、それに伴い、第1期生が臨床実習を開始する2020年からは、当院が臨床実習施設として中核的な役割を担うことになりました。医学生が多くの症例を学ぶために、地域の先生方のご協力がなお一層必要な状況にあります。そして将来、ここで学んだ医学生がこの地域で活躍してくれることを期待しています。

地域社会において安全で豊かな生活を送るためには、充実した医療機関の存在が不可欠です。当院は地域の先生方から多数の患者様をご紹介いただき、安心して受診していただける医療を心がけており、その目標に向かって1000人を超える職員が日々努力を続けています。救急医療の面では、休日・夜間の受診者数は約7300名/年で、また救急車受け入れ件数は約3300件/年を超えています。

これからも地域の先生方のご支援を受けながら、高度な医療から在宅医療まで幅広く提供し、この地域で医療が完結できるように日々努力をして参りますので、今後ともよろしくご指導、ご鞭撻のほどお願い申し上げます。



## 西那須野キッズハウス を開設しました。

国際医療福祉大学 西那須野キッズハウスが、栃木県那須塩原市の国際医療福祉大学病院隣接地に開設しました。定員135名の当施設は、那須塩原市からの強い要望により開設したもので、栃木県那須塩原市では初となる病児保育も行います。市民の方はもとより福利厚生の一環として教職員も利用が可能です。延べ床面積1,700㎡の施設内には大きな遊戯室のほか、園庭には大型遊具・ブランコ・すべり台などを設置、非常に広々とした贅沢なつくりのこども園となりました。那須塩原市内では数少ない休日保育も実施、隣接する国際医療福祉大学病院と連携することで安心してお子様を預けられる体制を整備しています。



地域医療連携室 月曜日～土曜日 9:00～17:30

医療相談室 月曜日～土曜日 9:00～17:30

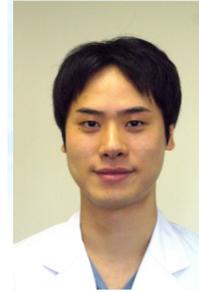
休診日・夜間等の救急紹介の場合は、0287-37-2221（代表）から担当医師に取り次ぎます。

地域医療連携室ホームページ URL: <http://hospital.iuhw.ac.jp/cooperation/index.html>



## 循環器内科診療のお知らせ

### 大動脈弁狭窄症への取り組み



循環器内科医長  
高木 祐介

#### はじめに

心臓弁膜症のひとつである「大動脈弁狭窄症」は、原因の50%超が加齢による動脈硬化であり、高齢化に伴った増加が、近年の循環器領域の大きな問題となっています。本稿では、大動脈弁狭窄を概説すると共に、当院の取り組みを紹介します。

#### 大動脈弁狭窄症の疫学と自然歴

75歳以上の人口で、大動脈弁狭窄症の頻度は2.5～5%であり、那須郡市医師会、塩谷郡市医師会、南那須医師会を合わせた栃木県北エリアでは、1,284～2,568人\*と推計されます。主な症状は「胸痛」、「失神」、「心不全」であり、未治療では症状の出現後、3年以内に約75%の患者様が死亡します。（\*平成29年10月1日 栃木県 年齢別人口調査結果から推計）

#### 発見のためのスクリーニング

高齢者に息切れ、発作的な呼吸苦、胸痛などが見られた場合、本疾患を疑う必要があります。最も簡易なスクリーニングは聴診であり、第二肋間の胸骨右縁で収縮期雑音を聴取します。心エコーは確定診断に最も有用です。必ずしも詳細な計測は求められず、大動脈弁の開放制限、肥厚、輝度の上昇など、見た目でも「硬くなって、開いていない」ことの観察で十分です（図1-1）。また、胸部CT検査では、大動脈弁の石灰化が観察されます（図1-2）。スクリーニングで本疾患が疑われた場合、専門医が評価し、治療方針を決定します。

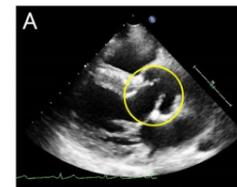
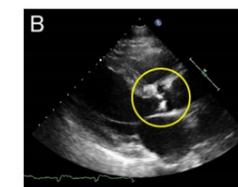


図1-1 (A) 正常な大動脈弁



(B) 変性して開かない大動脈弁

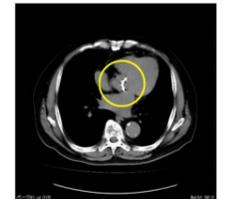


図1-2 胸部CT検査で見られる大動脈弁の石灰化

#### 大動脈弁狭窄症の治療

内科的な薬物療法は一定の効果がありますが、根本的には大動脈弁への直接的な治療が望まれます。第一選択は、開胸による弁置換術です（図2-1）。しかし、高齢、体力の低下、併存疾患などの理由により、実施が困難な患者様も多くいます。経カテーテル大動脈弁留置術（TAVI）は、カテーテルを用いて人工弁を挿入する、低侵襲な方法です（図2-2）。本邦では2013年10月から保険償還となり、普及が進んでいます。また、大動脈弁バルーン拡張術は、自己の弁を温存しつつ、弁の狭窄を解消する方法です（図2-3）。治療の選択肢が増えたことで、個々の患者様に応じた使い分けが可能となってきました。

#### 国際医療福祉大学病院の取り組み

当院は、栃木県北エリアで唯一、循環器内科と心臓外科の両者を有する医療機関として、大動脈弁狭窄症の包括的な診療に取り組んでいます。2018年5月現在で、弁置換術、バルーン拡張術が実施可能です。また、経カテーテル大動脈弁留置術（TAVI）は、今後の導入に向けて準備を進めています。積極的に大動脈弁狭窄症に介入することで、地域医療への貢献に努めてまいります。連携する医療機関の皆様におかれましては、病歴、スクリーニングで本疾患を疑う場合、当院をはじめとした専門医への早期の紹介をご考慮下さい。

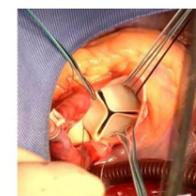


図2-1 人工弁に置換された大動脈弁

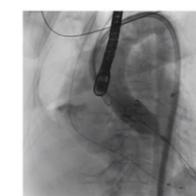
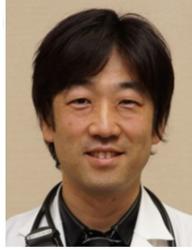


図2-2 カテーテルで人工弁を挿入



図2-3 バルーンカテーテル

## 腎臓内科診療のお知らせ



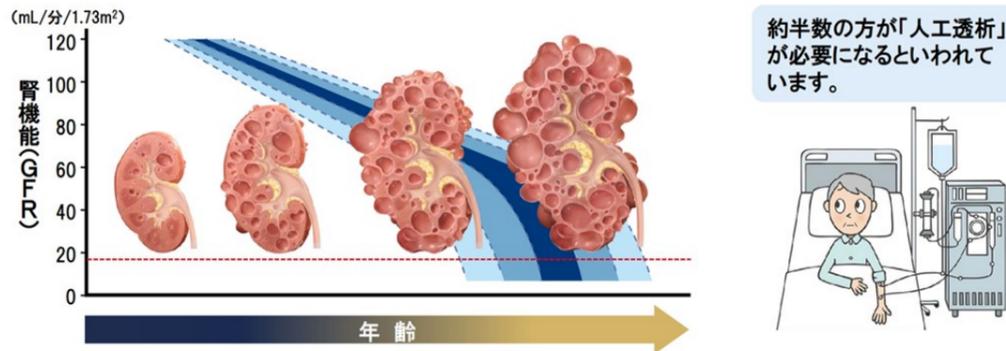
腎臓内科部長  
鷺田 直輝

### 腎臓内科にて多発性のう胞腎の受け入れを行っています！

当科では原発性糸球体腎炎、糖尿病・高血圧・膠原病などによる二次性腎疾患、多発性のう胞腎を含めた遺伝性腎疾患、間質性腎炎などの腎疾患ならびに急性・慢性腎不全の透析療法や合併症を、入院および外来で総合的に診療しています。診療についてのお問い合わせ・予約は地域医療連携室へお電話にてご連絡下さい。

### 常染色体優性多発性のう胞腎とは？

この病気は、腎臓にのう胞(液体の詰まった袋)がたくさんでき、そののう胞が大きくなる遺伝性の病気です。腎臓にのう胞が増えて大きくなってくると、腎臓は大きくなり、機能が低下し、70歳までに約半数の方に「人工透析」が必要になるといわれています。



➢ 平成27年より多発性のう胞腎が難病医療費助成の対象となりました。

## 小児外科診療のお知らせ



小児外科部長  
瀧本 康史

### 小児外科の体制が強化しました。いつでもご相談下さい！

小児外科では、足の付け根が腫れる(鼠径ヘルニア=脱腸)、片方の陰嚢が腫れる(陰嚢水腫)、精巣の位置が左右で異なる(停留または移動性精巣)、お臍が腫れる(臍ヘルニア)、急性虫垂炎、慢性便秘、包茎などの小児でよくみられる病気について不安があればいつでも診察させていただきます。また胆道拡張症、胆道閉鎖症、ヒルシュスプリング病、鎖肛の手術、新生児手術、小児呼吸器手術、小児固形腫瘍の手術の経験が豊富です。4月より医師2名着任され常勤医師3名体制で行っておりますので、いつでも相談して下さい。

	月	火	水	木	金	土
午前	瀧本 康史	—	OPE	瀧本 康史	担当医	第2.4.5 羽金 和彦 第1.3 担当医
午後	—	瀧本 康史 齋藤 傑 福井 慶介	OPE	瀧本 康史 齋藤 傑 福井 慶介		

小児外科  
外来体制

365日24時間  
いつでもご相談下さい！

## 医局人事のお知らせ

(医師案内順)



### 平成30年4月新入職者

氏名	氏名	診療科・役職	氏名
脳神経外科部長・教授	永井 睦	眼科	林あゆみ
呼吸器内科部長・教授	山沢 英明	耳鼻咽喉科部長・医学部教授	岡野 光博
循環器内科 冠疾患科副部長・講師	湊谷 豊	麻酔科部長・教授	正木 英二
循環器内科医長・講師	高木 祐介	麻酔科医長	平野 博史
血管外科	井上 健太郎	形成外科	魚谷 雄一郎
消化器外科医学部准教授	星本 相淳	皮膚科	小谷 紘史
腎泌尿器外科医長・医学部准教授	高岡 栄一郎	歯科口腔外科	手塚 里奈
産婦人科	伊東 孝晃	初期臨床研修医	秋田 貴之
小児科	倉根 超	初期臨床研修医	小山田 匠吾
小児外科助教	齋藤 傑	初期臨床研修医	成木 清楓
小児外科助教	福井 慶介	初期臨床研修医	藤岡 淳朗
眼科医学部教授	忍足 俊幸	初期臨床研修医	藤川 敦史

### 平成30年4月新役職・職位紹介

診療科	新役職・職位	氏名	旧役職・職位
心臓外科	心臓外科医長・医学部助教	吉永 隆	
腎臓内科	腎臓内科部長・透析部長・医学部主任教授	鷺田 直輝	腎臓内科部長
腎泌尿器外科	腎泌尿器外科副部長	稲井 広夢	腎泌尿器外科医長
産婦人科	産婦人科部長・教授	柿沼 敏行	産婦人科副部長・准教授
小児科	小児科部長・教授	門田 行史	小児科部長・准教授
小児外科	小児外科部長・医学部主任教授	瀧本 康史	
予防医学	予防医学副センター長・医学部教授	大野 彰二	呼吸器内科部長

### 平成30年3月退職者

診療科	氏名
血管外科	中山 兼
腎臓内科	井岡 崇
腎泌尿器外科	古城 公佑
産婦人科	橋 直之
小児科	小池 泰敬
小児科	久保 達也
歯科口腔外科	仁保 千秋
初期臨床研修医	角田 潤哉
初期臨床研修医	高井 俊輔
初期臨床研修医	居積 晃希
初期臨床研修医	人見 俊一

### 平成30年4月異動者(転出)

診療科	氏名	異動先
小児科	水野 晴夫	三田病院
耳鼻咽喉科	野口 佳裕	三田病院
麻酔科	有山 淳	塩谷病院
麻酔科	花崎 元彦	三田病院
病理診断科	高橋 芳久	三田病院

